

## 令和7年第12回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和7年12月19日 午後4時
- 2 閉会 令和7年12月19日 午後5時11分
- 3 会議に出席した委員  
教育長 伊藤 正徳  
職務代理者 高崎 佐智江  
委員 田中 早苗  
委員 田中 智和  
委員 山本 哲男
- 4 会議に欠席した委員  
なし
- 5 会議に出席した職員  
教育部長 山田 達也  
教育部次長兼図書館長 是住 久美子  
教育総務課長 川口 崇  
学校教育課長 鈴木 和美  
生涯学習課長 小久保 高  
スポーツ課長 鈴木 雅也  
文化財課長 天野 敏規  
生涯学習課主幹 朽名 武彦  
教育総務課長補佐兼係長 大久保 加奈子
- 6 議事日程  
別紙のとおり

## 田原市教育委員会第12回定例会議事日程

日 時 令和7年12月19日（金）

午後4時

場 所 北庁舎3階 300会議室

### 1 会議録署名者の指名

### 2 教育長報告事項

### 3 議案

- (1) 議案第32号 田原市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について

### 4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 田原市議会第3回定例会一般質問について
- (3) 田原市多世代交流施設（プール等）整備・管理運営事業について
- (4) 小中学校への寄附について

### 5 その他

開 会 午後4時00分

教育長

本日は、何かとご多用のところご出席くださりまして、誠にありがとうございます。

ただいまの出席者は5名であります。定足数に達しておりますので、令和7年田原市教育委員会第12回定例会は成立をいたしました。

これより開会をいたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者として、高崎佐智江委員と山本哲男委員の御兩名を指名させていただきますので、よろしくお願いをいたします。

教育長

それでは、議題に先立ち、教育長報告をさせていただきます。

2ページをお開きください。割とたくさんのところに出ていったわけですが、抜粋をして、お知らせをいたします。

まず、11月15日、前の週から始まっていたそれぞれの小学校の学習発表会並びに学芸会を渡り歩いてきました。学習発表会には学習発表会の、学芸会には学芸会のそれぞれの学校の方針もあって、どちらも非常に保護者ともども楽しめる会になっていたかなと思います。

それから11月16日、福祉の集いの下に記載のある「笑って元気！！田原落語会」が文化会館で行われました。久々に有料でありながら満席になるという非常に狙いが良かったかなと思いますので、生涯学習課が胸張っていいかなと思います。

それから、11月18日、第7回田原市の校長会があったのですが、これについては、4ページにあって、また見ておいていただければいいのですが、基本的に、教育白書について、こういうようなところが目についたな、校長、教員を褒めてあげてくれというところが、挙げてありますので、またよろしくお願いします。

それから、11月20日の3段目ですけれども、社会教育委員並びに公民館の連合会の合同研修会がありました。非常にたくさんの方が集まって、特に社会教育についても、公民館についても、そこを拠点として、子供たちをどう育てるかとか、割とそういうところに焦点を当ててくれておりますので、今の学校もコミュニティスクール化しておるのですが、やっぱり学校からも外、それから外の周辺からも学校といういい流れができつつあるのかなと、自分の読みで思っております。

それから下がって、11月26日から校長の一次面談が始まりました。それぞれ校長には、学校運営について、それから、学校の職員の今の状況について残したい職員、転出させた方がその子の将来につながるなどという、そういうのを三役、自分と課長と補佐で聞き取りをしました。

それから、11月29日に、第29回表浜自然ふれあいフェスティバルということで、太平洋側海岸の清掃をいたしました。ここには、東部中学の子が非常にたくさん出てきてくれて、実施者も非常に喜ん

でございました。

それから、3ページに行って、12月4日から田原市議会の第4回定例会が始まりました。また、この後で、一般質問でどういことがあったのかは、部長のほうからあるかなと思います。

それから12月6日、愛知万博のメモリアル第18回愛知県市町村対抗駅伝競走大会が愛地球博で行われ、田原市もそこに出ていきました。チーム的には非常に力が上がっていて、実際、タイムでは去年より早いのですけれども、8位の入賞であったと。入賞だから、非常に胸張っているわけですが、自分たちより上のところは、自分たちより大きい市ばかりですので、その中で非常に健闘したかなと。だけど、監督は次をまたと意欲を燃やしてございました。

12月7日、田原人権ファンクション委員会の講演会がありまして、高尾美穂さんは、産婦人科医で医学博士でもあるのですけれども、その人の講演を聞きました。さすがに名前の売れている人ということで、お話も上手で、会場はいっぱいになったのも、田原市としても、非常にいい講演だったかなと思います。

それから12月13日に、全国少年少女チャレンジ創造コンテスト、これは少年少女発明クラブの全国大会なのですけれども、それに田原のチームが参加をしていきました。もうここで本当に何年でもこの全国大会に出続けている常連ですけれども、なかなか上のほう、今回も北は宮城県から、南は宮崎県まで40チームが集まったのですけれども、そのうち賞状が手にできるのは10チームで、残念ながら、うちはそこには入れなかったのですけれども、子供たちは奨励賞ということで、銅メダルをもらって、実はこの大会は愛知県知事と写真が撮れるとお話できると、なかなかいいイベントになっておりまして、子供たちはまた来年もここに行きたいということで、盛り上がってございました。

それから、12月18日、昨日ですけれども、田原市議会の最終日で無事終了をいたしました。

そして、本日を迎えるのですけれども、本日、この教育委員会のすぐ前までに、田原市の消防職員の意見発表会というのを、講堂でやっております、6名の消防職員が発表をしたのですけれども、非常に立派で、自分もぜひあれを子供たちに見せたいなと思いたしたので、事務局になんとかy o u t u b eに載せて、あるいはホームページにつけていただければどうだと提案しておきました。事務局が考えると言ってございましたので、多分考えてくれると思います。

ということで、こういうふうにして、前回の定例会から、自分は動いてございました。

それでは、すみません。以下の自分の発表について発表しなかったところも含めて、何か質問等あったら、お願いをいたします。

よろしいですか。

では、質問もないようですので、教育長報告事項を終わります。

では、これより議題に入ります。

はじめに、議案第32号田原市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画についてを議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

学校教育課長

お願いします。

議案第32号田原市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について、別添のとおり、策定するものとする。

令和7年12月19日提出、田原市教育委員会教育長です。

今年6月、公立の義務教育諸学校の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律が公布され、令和8年4月1日から施行されることとなりました。

これを踏まえて、服務監督教育委員会は、指針の内容に即して計画を定め、実施する必要がある、地域の実情に応じた業務量管理・健康確保措置実施計画を策定するものです。

8ページを御覧ください。計画の趣旨と現状について、趣旨については御確認ください。本市の現状ですけれども、令和6年度の状況になりますが、45時間以下の教育職員は、小学校で83.9%、中学校で57.1%でした。そこで、小学校では、令和8年度から100%程度、中学校では、80%程度を目標に取り組んでまいります。

9ページに進んでいただいて、年次休暇につきましては、1年で付与される20日分の半分となる10日以上を目標に取り組んでいくものです。

期間は、令和8年から12年度の5年間となります。

内容につきましては、すでに取り組んでいる内容について、整理をしました。業務の見直しについては、学校以外が担うべき業務として3点、通学路の見守り活動、夜間の見回り、過剰な要求に対する保護者対応、教師以外が積極的に参画すべき業務として3点、調査等の軽減、プール管理、部活動。

10ページに進んでいただいて、負担軽減を促進する業務として3点、授業準備や評価、支援が必要な児童生徒の家庭への対応、連携協働による役割分担。

次に、学校における措置の推進については4点、カリキュラムの見直し、日課表の工夫、業務のDX化、保護者対応業務の適正化を推進します。

健康福祉の確保に関する取組として3点、11ページにお進みください。月80時間を超えて、ストレスチェックで、高ストレス判定を受けた教育職員と、管理職が必要と判断した教育職員については、医師による面接指導を実施します。

今年度から開始したストレスチェックを確実に実施し、各学校へフィードバックを行います。年次休暇の取得については、まとまった取得ができるよう、学校閉庁日の設定をしていきます。

5、フォローアップについて、年度ごと教育委員会定例会にて時間外在校時間等について報告をします。

その他の取組については、御覧ください。

以上、提案させていただきます。

教育長

事務局の説明が終わりましたけれども、今のものについて御質問はございますか。

これは基本的に、文部科学省の指示を受けて結局作っていくものですが、ただ、やっぱり説明が足りないと、保護者であるとか、地域の理解は得られないかなと思いますので、丁寧にそれぞれの学校も合わせて、これを出すときには、しっかり説明していきたいなと思います。

御質問もないようですので、お諮りをいたします。議案第32号田原市立学校の教職員に関する業務量管理、健康確保措置実施計画については、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

教育長

ありがとうございます。

では、ご異議ないようですので、議案第32号につきましては、原案どおり可決といたします。

続いて、報告事項に入ります。

では、教育委員の皆様方の連絡や報告事項を順次お願いいたします。

高崎佐智江委員

失礼いたします。私は、11月初旬に子育て支援会議に参加させていただきました。新任の会長さんとして、前教育長の鈴木欣也先生が、おなりになり、私は引き続き、副部会長ということで、拝命をされ、子育て支援に協力をさせていただきたく思っておりますので、皆さんもご指導のほど、よろしく願いいたします。

それから、すいません。前回、所用で欠席をさせていただいたのですけれども、会議直後、田原中部小学校の学習発表会に行ってみりました。初めて崋山劇を拝見したのですけれども、私が一番いいと思いましたが、今の時代、どこの学校も主役の方が数名いらっしゃり、1つの役を何人かで交代とされているところが多いと思うのですが、この崋山劇に関しましては、1人の方がその担当はあるのですけれども、やられるということで、私は伝統を守り、1人の方がやるというのかな。どちらもみんなが主役でもいいし、それから、そのクラシックに昔ながらの方法をとり、今の時代とはかけ離れているけれども、これもありなのだということを、保護者の方とお子さんたちが認め合うということが大事なのではないかなと。この崋山劇がもちろんすばらしかったですが、私自身が問題定義をさせていただきました。

それから、私が家庭内感染で、12月7日までインフルエンザに感

染いたしまして、それで、ここ近年、無敵だったのですけれども、その後、ちょっと話すと、喘息が出てしまうという、久しぶりに病院にかかったわけなんですね。それで、いろいろ学ばせていただいて、病院の先生もいろいろだし、患者さんもいろいろで、一番私が伝えたいことは何かというと、自分自身が健康であるということが、ベストパフォーマンスができるということを痛感いたしました。隔離期間もございましたので、体は本当に予防接種する矢先だったので、非常にえらかったです。それで何を一番思ったかということ、先生方の健康で、今、お子さんたちがいろいろ学校に行きにくい状況が多いですけど、先生方の心身ともに健康というのを、若い先生方のその授業を拝見して、すごく大事だなということをお自身が弱って改めて痛感いたしました。

年の瀬でございますけれども、来年は健康で元気にいきたいと思っておりますので、皆さんよろしくお願ひします。

以上でございます。自分の反省が今回多くてすみません。

教育長

健康は大事ですね。

田中早苗委員よろしくお願ひします。

田中早苗委員

私からは4件報告いたします。

11月15日に童浦の発表会へ行ってきました。童浦小学校では、体育館のブザー音の調子が悪いということで、合図はベルというか、鐘を鳴らしていました。

5年、1年、2年、3年、4年、6年の順で発表があり、最初の5年生は合唱と合奏と漫才とダンスと盛りだくさんでした。漫才は、総合的な学習で学んだ米についてミルクボーイの「おかんが言うには、」というようなネタに載せて発表しておりました。テンポが良くて、お米についての知識を大人になって、もう当たり前のようになっていて知らなかったことを知ることができ、とても楽しく学べました。ダンスでは、ステージとアリーナで、各3列ずつのフォーメーションだったのですが、全員が前列になれるように列が交代して、フォーメーションが変わり、大人数ならではの配慮が見られました。

1年生の朗読劇では、サラダで元気は、学校保健委員会のキャラクターのバランスレンジャーが登場して、サラダのトッピングを栄養素に結びつけて、より分かりやすかったと思いました。

衣笠小にも、学習発表会へ行かせていただいたのですけれど、6年生の江崎巡査物語を見たくて、行かせていただきました。恥ずかしながら、田原に20数年住んでいますが、江崎巡査のことを知らずに学ばせていただきました。演技と歌とピアノ伴奏と、6年生がみんな一体となって作り上げて、劇はとても迫力があり、引き込まれました。

ピアノ伴奏は、数人が交代して弾いており、巡査役も前半と後半

で、男子児童と女子児童がダブルキャストで演じておりました。性別にこだわらない配役は、これからの時代で受け入れられてほしいと思います。何年も前ですが、清田小では、女子が1人という学年がありましても、シンデレラの姉役が全員男子という男子がドレスを着て、本人はどうだったか分からないですけど、楽しそうに、演じておりましたので、そういう非日常を楽しんで経験して、人生を大事にしてほしいと思いました。

19日に、田原市博物館、渥美半島の貝塚展を見に行ってきました。本当に偶然ですけど、泉小学校の児童たちが学びに来ていたので、増山ガイドツアーがありまして、便乗して貴重な展示を見ってきました。

先日、増山さんが出演されたテレビで見ましたけど、増山さんの思い出の頭蓋骨がありまして、死人に口なしと言いますけど、長い年月を得て、骨から食や生活を、この後世の人間に見られるというのが、生きているときはきっと想像してなかっただろうと思いました。

7日に不思議文学半島プロジェクト2025不思議シンポジウム『死』ってなんだろう？を聞いてきました。登壇者の方が4名おられて、豊橋技術科学大学准教授の岩内章太郎さんと、中学校教員と防災士と業界部門家研究者の3足のわらじを履く島田尚幸さん、前図書館館長の豊田高広さん。田原市の図書館協議会委員であり、豊橋市の教育委員の内浦有美さんの4名でした。登壇者の方々が、事前に集められたアンケートにお答えする、それぞれの専門分野や会見を交え、死という・・・テーマを楽しく、軽やかにお話ししてくれました。

死というのは、生きているものに全てに訪れて、本人はもちろん、周りの人間も大きなダメージを受けると思うのですが、ネガティブなことではなくて、生きている間に周りの人たちと暗くならず話すことが大切だなと感じました。どうしてもお金の話や死の話はタブーな感じがして、話しにくいと思うのですが、私の家族に明るい感じで話そうと気をつける、心がけようと思います。

14日に、あつみにこんさーとを大学生の息子と聞きに行きました。ふるさと大使を設置当初から務めてくださる太田剣さん率いるカルテットで、コンサートに先駆けて、委嘱状の交付式がありました。式典があることを知らず、思いがけず同席できて嬉しかったです。

2部構成のコンサートでしたが、1部の始まりは、太田さんが作詞作曲された伊良湖岬小学校の校歌で、校長先生をはじめ、児童と会場でも楽譜を配られましたので、少しずつ歌いつつ、演奏を楽しみました。

曲の間に、太田さんの解説やメンバー紹介があって、太田さんの話し方がとても柔らかくて、穏やかで、ところどころ、感謝の言葉があって、さすが大使を務めるお人柄だなと思いました。今回の花束は、

クリスマスらしく、ポインセチアで大変喜ばれておりました。

終演後に、来場者のクリスマスプレゼントがあって、ちょっとほくほくして帰ってきました。楽しかったです。ありがとうございました。以上です。

教育長

ありがとうございました。田中智和委員よろしく申し上げます。

田中智和委員

失礼します。11月15日に神戸町と大草小学校の学芸会に行ってきました。まず神戸小学校から行って、あとから大草小学校に行ったのですが、大草小学校は全部劇ということで、間には大草スターナンバーワンということで、各自の特技などを披露する時間がありまして、大草小学校は、昔ながらの入れ替えとかなく、地域の人たちみんなが同じように椅子に座って参加する感じで、特技発表はそれぞれその劇とは違う学年の子が発表していたのですが、そのためか、時間が押して、当初よりスケジュールが大分狂っている感じでした。神戸小学校は、全員入替えで3年、5年以外は劇で入れ替え制ですので、時間ぴったりに進む。どちらもいいやり方でいいなと思ったのですが、ただ、案内が最初にも確認したのですが、特に時間の案内がなかったので、調べたら、大草小学校の開始時間が早くて、それを知らなかったのも、自分が思っていたよりも早く進んでいってしまって、小学校の開始時間と終わりの時間の案内をいただけたらなと思いました。

11月21日に県民ホリデーということで、姉妹都市の宮田村へリングゴ狩りに行きました。SNSでは、県民ホリデーについて、保護者が休めないとか、いろいろな意見がありますが、我が家は自営業なので、せつかくですので、忙しくてもその日だけは休もうということで、みんなで仕事を休んで行くようにしています。我が家にとってはいい一日となりました。

11月29日に田原東部小学校の学習発表会に参加させていただきました。田原東部小学校で6年生の最後に合唱がありまして、その合唱は、田原東部小学校のチャイムの曲をベースにした田原東部小学校の先生が作曲された合唱の歌がありまして、その歌がものすごくよくて、多分、卒業式に聞いたら、みんな泣いちゃうのではないかなというぐらい良かったので、これはぜひ何かしても取り上げていただいて、田原東部小学校のその先生のチャイムのほうをぜひ取材していただけたらいいなというぐらいの完成度でしたので、ぜひ市の関係者の方をお願いしたいです。

12月6日に神戸小学校の環境整備会に参加してきました。今年は、PTAの現役の役員さんと、PTAの会長会というものが会長をやった経験した人たちの集まりでありまして、その会の中で、PTAの会長会にただ集まるだけでもよくないので、何かやりましょうとい

うことで、環境整備のほうに誘っていただいて、会長会から9名参加しました。自営業ばかりで、環境整備作業に慣れた人が多いので、大変スムーズに進んで、先生方も喜んでもらえたので、子供が卒業してからも小学校と関わるといのは、素晴らしいことだと思いました。

12月10日、神戸小学校の持久走大会に保護者として参加しました。今年は、順位ではなく、目標タイムがありまして、それをクリアすると賞状をもらえるという自分との戦いということで、去年までは、順位だったのですが、今年からタイムとなって、非常に子供たちを最後まで、何位でも諦めずに走っていたのが印象でした。

そして、別件ですが、12月7日に高尾先生のお話を妻と息子が2人で行きまして。仕事中でもいきなり思い出したかのように、先生はこうやって言っていたという話を何度も言うぐらい印象的で、その最後の話では、10年ファンでしたみたいな方もいて、私はまだまだだと言って帰ってきましたけど、大変いい時間になったようで、いい先生を呼んでいただいて、心から感謝いたします。以上であります。

教育長

ありがとうございました。山本委員、よろしく申し上げます。

山本哲男委員

私からは2点報告させていただきます。

まず、11月15日、赤羽根小学校のわくわく赤小フェスと若戸小学校のゆりのき発表会を参加させていただきまして、赤羽根小学校は低学年の発表でした。どの学年も国語で学習した題材を劇にしているわけですが、題材そのままではなくて、内容をアレンジしていましたし、歌や演奏を交えたり、運動を取り入れたりして、子どもが楽しく取り組めるように工夫されていると感じました。

若戸小学校は高学年の発表でした。総合的な学習や学校行事で学んだことを題材にしていました。6年生は何か内容を自分たちで考え、工夫して作ったということで、大変生き生きと演じていると感じました。小規模校らしいアットホームな雰囲気、観客も一緒になって、楽しんでいる感じがしました。

学習発表会は、学校の主要な文化的行事ですけれども、その在り方が変化しているということを感じました。コロナをきっかけに、学校が年間の教育活動の中で、どのように位置づけていくかということを変えて考えるようになって、何か学校の独自性が出てきたのだと思います。学習発表会とか学芸会のためだけに、唐突に何か活動をするという感じではなくて、子ども同士が関わって工夫しながら、作り上げていくという過程を大切にいただいて、コミュニケーションとか思いやりとか、集団の主力感など、今、子供たちの課題になっているような部分も育てていってほしいと思いました。

次に、12月7日に図書館主催のシンポジウム『死』ってなんだろうというのに参加いたしました。死ということになると、正面切って話すということがあまりなくて、どちらかというとタブーな領域だと思うのですが、あえてこのようなことを考えたり、語り合ったりすることが、生き方の大事な部分でもあるのだろうということを思いました。それを裏付けるように、意外と多くの参加者がいたのでびっくりしました。

登壇者の方がタブー視しないで語り合うとか、正直な言葉で気持ちを話して、思いを共有していくといったようなことの大切さを話されていて、これは、何も死ということだけじゃなくて、私たちが生きる上での核心的な部分だろうなということを思いました。

先ほどのタブーみたいな話で言うと、例えば、学校だと子どもたちに対して、頑張ったことを書こうとか、うれしかったことを書いてみてとか、そういう投げかけをするんですよね。でも、本当に子供たちが気持ちをほかの子と共有したいとか、それから誰かに認めてほしいという部分は、本当はそういう気持ちじゃなくて、辛い気持ちだとか、悲しい気持ちみたいな部分があると思うんですよね。でも、意外とそういうのには蓋をしちゃうと、取り上げることを学校として避けちゃうと、そういうことは多いのかなということを思います。

このシンポジウムに参加して、そういう意味でも、なんか大切な視点をもらったような気がいたしました。以上です。

教育長

ありがとうございました。大変参考になりました。また、これからも情報収集のほう、よろしく願いをいたします。

それでは次に、報告事項の(2)田原市議会第4回定例会一般質問について、事務局から説明をお願いします。

教育部長

それでは、私のほうから説明をさせていただきます。  
田原市議会第4回定例会、一般質問について御説明いたしますけれども、まず一般質問の説明の前に、先に議案を説明させていただきますので、12ページ、令和7年田原市議会第4回定例会提出議案等の資料を御覧いただきたいと思います。

定例会の初日、12月4日は、12ページから16ページにわたります。議案等の提案説明と報告が行われております。議案が22件、内訳として、人事の案件が4件、条例が14件、単行議案が3件、予算が1件、報告2件でございます。

赤枠で示してございます部分が、教育委員会の各所管課に関わる議案、あるいは、報告等になってございます。

補正予算に関しまして、前回の定例会で、各課長のほうから御説明をさせていただきましたので、内容については省略させていただきます。

す。

スポーツ施設の整備事業で要求しました緑が浜公園の駐車場舗装整備工事と実施方法の再検討という指示が内部的にありましたけれども、おおむね、予算の確保は今回補正で取れましたので、報告だけはさせていただきます。

昨日、議会の最終日ですけれども、16ページのとおり、議案第99号として補正予算が追加提案、そして可決されております。

内容につきましては、国の強い経済を実現する総合経済対策に伴うもので、政府が今現在進めております子育て支援として、子供1人当たり2万円を支給するというものについての議案可決というものでございます。

では、17ページを御覧いただきたいと思います。

一般質問は、12月8日と9日に行われ、個人質問は、10人の議員さんのほうから通告を受けて行われました。

教育委員会は、赤枠で表示してございます真野議員、辻議員、次のページ18ページの岡本議員から、御質問をいただいております。

19ページから46ページにつきましては、10名から提出された一般質問の通告書が添付されておりますので、お時間あるときに御覧いただければと思いますので、恐縮ですが、47ページまで飛んでいただきたいと思います。

令和7年第4回定例会、一般質問（概略）という資料が添付してございます。よろしいでしょうか。

では、はじめにですね、真野議員の一般質問について御説明いたします。真野議員については、1問1答方式で行われました。

質問の大項目は、市内の小中学校の在り方についてで、小項目として2点、1点目は、学校規模に対応した教育の取組と今後の方向性についてで、2点目は、学校規模と今後の方向性に関する質問内容でございます。

当初質問や当初答弁、さらに再質問やその答弁をまとめて申し上げますと、現在、田原市の教育環境が非常に大きく転換期に入っております。児童数は、今後6年間で、現在の約3,000人から約1,000人減少する見込みになってございます。

そして、令和13年度には、市内18校中13校の小学校が、全校児童120人未満の小規模校になると予測されております。

こうした中で、市では学校未来創造計画に基づいて、学校規模による教育格差が生じないように、今現在取り組んでおまして、具体的には、ICTを活用した合同授業や、あるいは、小規模校同士の交流なども進めております。

議員から、特定の学校に校区外から通える小規模特認校制度の導入について提案がございました。これに対して、市のほうでは、少人数

教育のメリットを認めつつも、ほかの学校の少子化を加速させる懸念、あるいは、児童数の変動が大きくて計画的な学校運営が難しくなる。そういった点を挙げ、制度の導入やモデル校の設置については、慎重に判断する姿勢を示したということです。

最も大事なのは、地域や保護者の声を聞くことで、市は児童数の減少によって、直ちに統廃合、小学校の統廃合を進めるものではなくて、令和8年度に予定される学校未来創造計画の計画改定に向け、多角的な視点で、より良い教育環境を検討していくと答弁してございます。

次に、48ページの中段にございます2点目のコミュニティスクールについてでございます。現在、市内の小中学校16校で導入がされておりまして、防災訓練やボランティア活動地域課題の解決に結びつく取組が行われております。今後の方向性として、未導入の小中学校についても、令和12年度までには全校導入を目指してまいります。コミュニティスクールの学校運営協議会では、学校の小規模化という地域の課題を主体的に議論することで、地域全体で子供たちの未来を考える当事者意識の醸成によって、地域とともにある学校づくりを地域の活性化にもつなげていくといった考え方をお示したところです。

一般質問を終えて、真野議員の締め 의견があったんですけれども、やりとりはなかなか、特に行政のほうは難しいですという、慎重にやらないと難しいですという答弁を連続してやったんですけれども、ですが、結局、今こそ小規模特認校制度の導入が必要なんですという提案でくられまして、それを支えるためのコミュニティスクールのより一層の活用を進めていくべきだということが付け加えられて、納得ということはあったのですけれども、結局のところ、特認校制度は慎重な判断が必要と、市の答弁はしたのですけれども、理解がされずに、むしろその制度導入の慎重論を打ち消されたような終わり方をしてしまったと思いました。

続いて、50ページ辻議員の一般質問についてでございます。議員も1問1答で行われまして、質問の大項目、小項目ともに、小中学校のトイレへの生理用品の配置についての質問でございました。

当初質問当初答弁、さらに再質問やその答弁をまとめますと、議員からは、経済的な理由や恥ずかしくて周囲に相談ができない生理の貧困への対応についての内容でございます。

この質問に対して、現在、市内の小中学校では、全ての保健室に生理用品を常備していますが、トイレ内に配置しているのは、22校中4校にとどまっております。市はトイレへの配置は児童生徒の不安を和らげ、尊厳を守るために重要であると評価はしつつ、今後の対応として、まず現在配置されていない中学校2校には速やかに、トイレの配置を進めるという答弁をさせていただきました。

ちなみに、2校の中学校は、もう今現在、学校長と養護の先生で配置の検討に入っております。

一方で、課題となっております小学校について、低学年によるいたずら、あるいは混乱を避けるため、設置場所の工夫、例えば、高学年の教室の近くにあるトイレに限定して配置することや設置の方法、例えば、低学年には、手の届かない位置に工夫して置くとか、そういったことで、誰にとってもやさしく安心して過ごせる学校の環境づくりに取り組んでまいりますということを明言させていただいたところでございます。

続いて、最後51ページ、岡本重明議員の一般質問でございます。岡本議員は、一括質問一括答弁方式で、質問の内容については、平和教育とAIを利活用した授業における危険性についてで、小項目の1点目平和教育についてから、3点のご質問をいただきました。

質問に対して、本市の平和教育は、学習指導要領に持たれておりますということで、本来は終わるのですがけれども、それでは、一般質問は成り立ちませんので、学習指導要領に基づいて、第2次世界大戦の参加や当時の国際情勢、経済状況を多角的に考察する授業を行っている。そういった事実の答弁をしてございますが、議員から、日米開戦に至る背景や経済要因をどう教えているのかという、踏み込んだ質問がありまして、市は当時の世界地図の資料やあるいは、国際社会の変化を客観的に学習させているという答弁をさせていただきました。

さらに教師に対しては、指導の偏りが無いよう、研修を通じて共通の認識を持って、人権あるいは、国際理解教育と合わせて、平和な国際社会に貢献できる人材を育成していくという答弁をさせていただきます。

52ページ、小項目の2点目、AIを利活用した授業における危険性についてから、3点のご質問をいただきました。市は、AIによる情報の信頼性、信憑性や偏見のリスクを認識しておりますと、教師はあくまで教科書や資料集を基本とする立場で、文部科学省の生成AIガイドラインに沿った利活用を考えているという答弁をさせていただきます。

また教師が介在しない安易な利用は不適切とし、AIの回答を鵜呑みにせず、生徒が自分の頭で考えることを前提とした指導を徹底しています。

ただ、今後は、AIが作成した文章を見極めるツールの活用を検討しつつ、基本的には教材研究を重視して、慎重に利活用を進めるといふ、そういう考え方を示したところでございます。

今、私が申し上げたものは非常に概略的に申し上げます。正しくは今後ですね、議会だよりとか、あるいは市のホームページで全文が公開されますので、もし良ければ、そちらを御覧いただきたいと思

ます。以上でございます。

教育長

ありがとうございました。ただいまの事務局の報告につきご質問等ございますか。

田中早苗委員、お願いします。

田中早苗委員

辻議員に対する生理用品のトイレの設置ですけど、うちは息子しかいないので、今、高校1年生の女の子に聞いたところ、清田小福江中を卒業した子ですけど、その2校にはなかったという話を聞きまして、全部の小中学校にないならいいんですけど、置いてあるところもあるという、不公平感がありますので、男子は使わないという問題ではなく、全中学校、せめて全中学校を配置してほしいと思っておりまして、話を進めているということで、お礼を言いたいと思います。ありがとうございます。

教育長

ありがとうございました。そのほかどうでしょう。

ご質問もないようですので、次に進みます。

次に、報告事項を（3）田原市多世代交流施設プール等整備管理運営事業について状況から報告をお願いします。

スポーツ課長

お願いいたします。スポーツ課です。田原市多世代交流施設プール等整備管理運営事業についてご報告させていただきます。

こちらは、12月11日、文教厚生委員協議会のほうにご報告させていただいたものとなっております。

報告事項を（3）の資料に基づき、説明させていただきます。

1の事業の進捗状況についてでございますが、本事業につきましては、令和7年4月に募集公告募集要項等を公表しまして、1グループから応募表明書の提出がありました。

しかし、その後、辞退届が提出されまして、実質応募者が0グループとなってしまいました。そのため、事業期間、事業者選定スケジュールや要求水準書等を見直した上での再募集を予定しております。

本日は、再募集にあたっての内容変更等を報告させていただくという形で、議会のほうには諮らせていただきました。

事業期間といたしましては、事業者の選定期間の終了年月を令和8年3月から令和8年6月に変更しました。一方としまして、設計整備管理運営の事業期間を18年から3か月短縮しまして、17年9か月に変更いたしました。

そのため、多世代交流施設のオープン予定は、令和11年4月で変更はございませんので、よろしくお願いいたします。

3の事業者選定のスケジュール、こちらは予定になりますが、再募

集のスケジュールといたしまして、令和7年12月10日、すでに募集公告募集要項等の公表をしております。令和8年1月16日に、応募表明書等の受付締切、3月31日に、提案書類の受付締切、4月中旬に、プレゼンテーションの実施、4月下旬に優先交渉権者の決定をいたします。5月上旬には基本協定、中旬には基本契約の締結を実施いたします。こちらのほうも、令和8年6月の第2回定例会議案に上程いたします。承認をいただくことになりました。契約締結の予定になると思いますので、よろしくお願いいたします。

次に4の事業費でございますが、こちらの変更はございませんので、よろしくお願いいたします。

5番の施設機能でございますが、機能の報告をした時から、変更はございません。

最後に、6、要求水準書の主な変更点でございますが、屋内温水プールにおける学校利用時の一般利用者の利用を不可、使えないという形で、学校利用時は一般の方が使えない形に変更いたしました。

これを実施することによりまして、予定していた児童生徒用のエントランスロビー及び更衣室の整備が不要となり、また、25メートルプールを6コースから5コースに変更いたしました。

また、事業者が提案する際に参考としてもらうための各処置の参考面積、参考基準面積の見直しを実施しております。

以上となります。よろしくお願いいたします。

教育長

ただいま事務局の報告が終了いたしました。  
これについて何か質問等ございますか。  
高崎委員、よろしくお願いいたします。

高崎委員

恐縮ですが、御辞退の理由を教えてくださいませんか。

スポーツ課長

こちらですが、事業費が提案上限価格に収まらなかったためということをおっしゃっていただきましたので、参考として、そういう上限額以上にいたので、辞退という形で聞いております。

高崎委員

先日、名古屋鉄道の社長が会見されていて、もう全てが高騰して、実施できなくなるということをお伺いして、そういう点から、5コースに変更したりとかそういうことでしょうか。

スポーツ課長

運営に支障がない程度の規模の集約をしながら、実施する形で、今、提案をもらう形になっています。

高崎委員

ありがとうございます。

教育長

そのほかございますか。よろしいですかね。  
ご質問もないようですので、次に報告事項を（４）小中学校への寄附について、事務局から説明をお願いします。

教育総務課長

小中学校への寄附について、報告事項（４）４番目になります。  
資料は５５ページを御覧ください。  
こちらの赤枠で囲っているところですが、７番目、１１月１４日に日本赤十字社愛知県支部支部長、大村秀章様から、若戸小学校で児童生徒の健全育成に資するためとして短焦点プロジェクター１台の御寄附をいただいております。  
続いて８番目、１２月１２日に田原市文化遺産地域活性化実行委員会会長、長神利行様から市内２小中学校、ふるさと教育センター、図書館に地域の文化財の普及啓発のため、冊子、「田原まつり、三町の山車」、１１３冊の本をいただいております。  
５６ページ、若戸小学校にいただいたプロジェクターの写真になります。５７ページは、冊子「田原まつり三町の山車」１１３冊の写真になっておりますので、御覧いただければと思います。  
以上、報告とさせていただきます。

教育長

ただいま事務局の報告がありました。ご質問はございますか。  
ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。  
次にその他ですが、事務局から何かございますか。

教育総務課長

教育総務課からです。資料の５８ページを御覧ください。教育委員出席日程案という資料を付けさせていただきます。本日の１２月１９日以降のスケジュールを付けさせていただきます。次、１月１１日になりますが、令和８年田原市二十歳の集い、こちら１０時から田原市総合体育館で開催いたします。御出席をお願いいたします。１月１７日土曜日ですが、田原市小中学校ＰＴＡ連絡協議会実践発表会教育講演会を１３時３０分から田原文化会館文化ホールで開催いたします。１月２０日ですが、令和８年第１回定例会を１３時３０分から３０２会議室で行う予定でございます。  
当日、１５時３０分を予定しておりますが、奨学金受給者選考委員会を、３０２会議室で開催する予定でございます。こちらの選考委員会につきましては、教育長、山本委員の御出席をお願いしたいと思います。  
その次、１月２６日月曜日に全国学校給食週間の招待給食といたしまして、田原中部小学校で、１２時から招待給食を開催いたします。  
こちらは、教育長の御出席をお願いいたします。

同日ですが、この日に提供する給食が田原市ジョージタウンの姉妹都市提携35周年記念事業を記念する給食でございます、アメリカンデーケンタッキー州編としまして、アメリカの給食を提供する予定であります。その試食会としまして、田原市給食センターにおきまして、11時15分から施設見学、11時45分から試食会を開催したいと思っております。こちらの試食会につきましては、国際交流の担当課であります広報秘書課が主催開催するものでございまして、会議開始前に、お手元に広報秘書課からの案内状を配付させていただきました。

本日、お渡しさせていただきましたので、御都合がつくようでしたら、御出席のほうをお願いしたいと思います。

次に、1月27日火曜日は、東三河管内教育委員代表者会議が14時から田原文化会館で開催する予定ですので、教育長、高崎委員の御出席を、同じく15時30分から、東三河管内市町村教育委員研修会を同じく田原文化会館で行いますので、教育長、教育委員さんの御出席をお願いしたいと思います。

次に、2月17日火曜日、令和8年第2回定例会を10時から政策会議室で行う予定で、同日13時30分から総合教育会議を同じく政策会議室で行う予定でございますので、御出席のほうをお願いいたします。

その下は、59ページにかけて教育関係イベントが記載のとおり開催されますので、よろしく願いいたします。

説明以上でございます。

教育長

そのほかございますか。

スポーツ課長

よろしく願いします。

先ほど、教育関係イベント等で59ページの12月21日日曜日第9回ライアン小川杯争奪学童軟式野球大会及び野球教室という形ですが、今週、天候とかを見据えた上で、学童軟式野球大会、日曜日の午前中はちょっとグラウンドは厳しいということで、1週間後の28日の日曜日に変更するという形で、今現在、話し合いが持たれております。

ただ、日曜日の午後は、天気は今のところ良くなるという予想のもと、野球教室は21日の午後実施予定でありますので、よろしく願いいたします。

教育長

その他ございますか。

図書館長。

図書館長

すみません。同じページの1月25日の書店と図書館がつなぐ未来

の読者in田原市というイベントがあるんですけども、こちら文部科学省の委託事業を受託している J P I C というところが主催で、共催で図書館が入っているのですが、書店と図書館の連携と、あと一般の読者の数を増やしていこうという趣旨で、高崎委員のタカサキ新聞の歴史について、お話しいただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

まだちょっとチラシ等が間に合っておりませんので、また来ましたら送らせていただきたいと思ひます。

教育長

よろしくお願ひします。そのほかございますか。

学校教育課長

本日動くこども110番のお披露目をさせていただきました。紙でお配りしましたが、今日から、郵便局とヤマト運輸の配達車両にステッカーを貼りまして、子供が登下校や休日に何かあったときに、助けを求めることができるという内容になっています。また、見かけることがあると思ひますので、車両をご確認いただければと思ひます。以上です。

教育長

非常にたくさんのバイクと車が出ておりますので、効果は大きいかなと期待をしております。

生涯学習課主幹お願ひします。

生涯学習課主幹

生涯学習課ですけれども、施設設備の不具合が生じておりますので、御報告いたします。

内容といたしましては、赤羽根文化会館の文化ホールになりますけれども、舞台照明設備の動作不良ですとか、空調設備の機能低下などが発生しておりまして、安全な利用環境の確保が困難なことから、現在、施設の利用を休止しております。

これまでの対応といたしましては、市のホームページに利用休止の旨を掲載するとともに、利用を予定していた団体に対して、個別に状況を御説明し、代替措置といたしまして、田原文化会館及び渥美文化会館の利用を御案内しているといった状況でございます。

簡単ですが、報告は以上です。

教育長

よろしくお願ひします。そのほかございますか。

委員の皆様からございますか。よろしいですか。

ないようですので、以上で本日の議事は全て終了をいたしました。ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第12回定例会を閉会とさせていただきます。

教育長

お疲れさまでした。

閉 会 午後5時11分